

令和5年度 武蔵村山市立第八小学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立第八小学校

校長名 牧 一彦

教育目標

人権尊重の基盤に立ち、創意に満ちた教育活動の推進に総力をあげ、人間性豊かで思いやりがあり、21世紀を逞しく生き抜く国際感覚豊かな子供を育てる。

- ◎考える子 きたえよう頭を
- 思いやりのある子 みがこう心を
- やりとげる子 つよくしよう心と体を
- 礼を重んずる子 あらわそう思いを
- 行動目標 わけをそえて話すことができる子

1 目指す特色ある学校像

- 自分大好き 友達大好き 学校大好き 八小の子 (目指す児童像)
人間力を高め、夢と希望を育み、笑顔あふれる学校 (目指す学校像)
苦楽を共にし、子供のために力を尽くす チーム八小 (目指す教師像)
- ① 地域を愛し、地域に開かれ、地域と共に歩む学校 (コミュニティ・スクール)
 - ② 午前5時間制により、元気、根気、本気、勇気(4つの気)を育む活力のある学校
 - ③ 礼儀やマナーを身に付け、明るい挨拶やそっと会釈のできる温かみのある学校
 - ④ 「楽しい授業」「わかる・できる授業」「考える授業」を通し、確かな学力を育てる教育力のある学校
 - ⑤ 子供が学校を誇りに思い、保護者・地域に愛され、信頼される学校

2 学校経営の目標・経営の具体策

- (1) ●全国学力学習状況調査(算数科)における平均正答率を、令和5年度までに全国平均に引き上げる。
- (2) 令和5年度国立教育政策研究所教育課程実践検証協力校として、「一人一研究」を含めた算数科を中心とした校内研究を充実・発展させ、教員全員の授業実践力のさらなる向上を図る。(校内OJTの充実、授業改善の推進)
- (3) 知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の向上のために、(1)「八小授業スタンダード」の実施と習熟タイムの活用、(3)算数科と漢字学習で進級・卒業検定及び期末テストの導入、(4)個別最適な学びを目指し、なるほど塾及び錬成塾等を行う。
- (4) GIGAスクール構想を推進し、PC端末等を授業、家庭学習、保護者連携に活用する。
 - ① 全教員の参加の校内研究の研究授業を年3回(各ブロック1回)行う。また、校内研究のテーマ・趣旨を踏まえた「一人一研究」の研究授業を少なくとも一人2回ずつ実施する。
 - ② 学力向上委員会を中心に進級・卒業検定や期末テストの実施方法を立案し、実施する。
 - ③ 早寝早起き・朝ご飯・歯磨き・家庭学習の励行とスクリーンタイムの制限等、家庭啓発に努める。
 - ④ 1人1台端末を「日々の授業」、「家庭学習」、「保護者連携」等に効果的に活用する。

小中一貫教育推進に向けた方策

- (4) 五中・一中校区の小中学校との連携を深め、「9年間を見通した小中一貫教育の推進」を図る。
 - ① 五中校区合同研究の研究主題を定め、目指す生徒像を育成するための手立てを追究する。
 - ② 小中各校同士の交流をさらに推進し、異校種の教員による特別授業を試行する。
 - ③ 五中校区スタンダードの実践を通して、より実効性の高い連携教育の在り方を追究する。